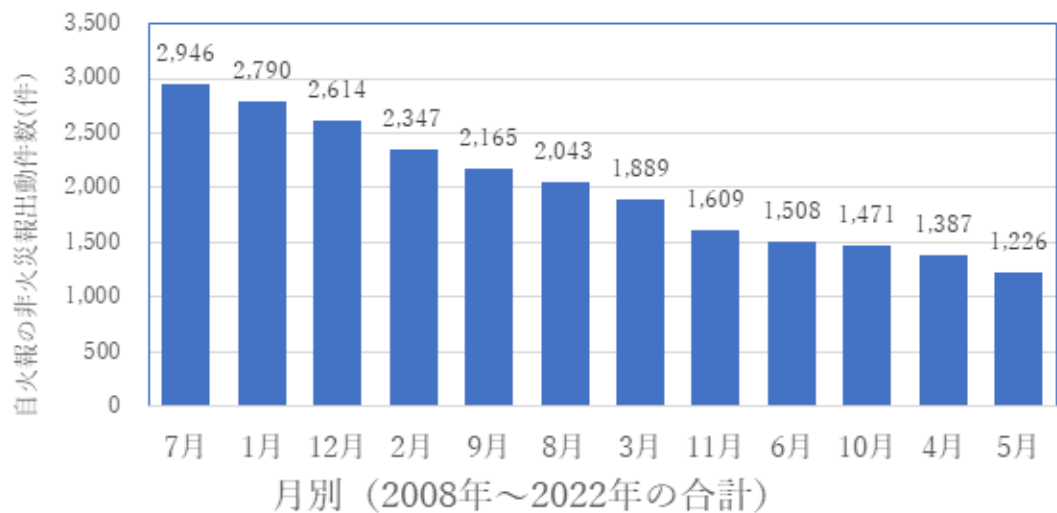


自動火災報知設備における冬期間の非火災出動状況 (2008年～2022年)

1 月別発生件数（2008年から2022年の合計）



2 冬期間（1・2・12月）の主な発生原因別件数と割合

主な発生原因	件数	割合
感知器内に水等が入る	1470	41.7%
室温の上昇	442	12.5%
焼物等の煙による作動	240	6.8%
蒸気等による作動	217	6.2%
感知器の接触	127	3.6%

3 冬期間の「感知器内に水等が入る」の主な発生場所別件数と割合

主な発生場所	件数	割合
居室	611	41.6%
駐車場	300	20.4%
廊下	64	4.4%
押入	59	4.0%
小屋裏	51	3.5%

4 発生件数が多い日の傾向

1日の発生件数が20件以上の日の傾向は、最低気温は-10℃以下が多く、その発生原因別では「感知器内に水等が入る」が71.4%となっている。その水が入った原因は、結露等とともに水道管破裂による上階からの水漏れも19.2%と高くなっている。